

事務事業名	波多温泉管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	産業施設グループ	課長名	宮川 勝
	施策名	(36)観光の振興	担当者名	落合直久	電話番号	0854-40-1093 (内線) 2422
	目的	対 象 A)市外の人 B)市民 意 図 A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 2 0	観光施設管理事業 波多温泉管理事業	
	目的	対 象 観光客 意 図 観光施設を利用できる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市民の健康増進、交流の場及び憩いの場として設置した施設。 温泉、休憩所、食堂、加工室、事務室、機械室等の施設管理運営 ・指定管理業務 ・リース料支払
<指定管理者制度導入施設> 指定管理者 波多コミュニティ協議会 指定管理期間 平成30年4月1日～令和3年3月31日 (3年間)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)				
	①指定管理者との年度協定締結 ②指定管理料支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリング実施 ⑤工事(1件:浴槽用ろ過器取替) ⑥備品(消費税10%対応レジ)購入	①指定管理者との年度協定締結 ②指定管理料支払い ③各月利用状況報告受理 ④モニタリング実施 ⑤指定管理導入[更新]業務				
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 負担行為件数	件	10	3	3	1
	イ 支出命令件数	件	11	4	4	4
	ウ 修繕件数	件	8	1	0	0
	エ 委託件数	件	1	1	1	1

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	①市民 ②市外からの入込客	ア 日本的人口	千人	126,706	126,443	125,773	125,325
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	37,794	37,012	36,248	37,004
		ウ 観光入込客数	万人	139.4	129.8	145.7	136.0
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
①②利用できる	ア 入湯者数	人	22,404	21,958	26,169	18,000	
	イ 入湯料	千円	5,173	4,825	6,090	4,000	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
【指定管理料】10,638千円 【工事請負費】2,794千円 【備品購入費】34千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	13,612	10,754	13,466
		事業費計 (A)	千円	13,612	10,754	13,466
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2
		延べ業務時間	時間	110	100	150
		人件費計 (B)	千円	448	433	636
		トータルコスト(A)+(B)	千円	14,060	11,187	14,102

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・入湯者数は約20,000人/年以上であり、利用者も定着している。 ・開館から年数経過し、配管及び機械設備等の老朽化が進み、計画的な更新等が必要である。特に空調設備は更新が急がれる。	・H21年度～H22年度の経済対策で浄化槽修繕、泉源ポンプ更新、休憩室増築、H24年度にバイオマスチップボイラー整備、H31(R元)年度に浴槽用ろ過器取替更新。	指定管理者から、今後の修繕についても、現行どおり定期的実施してもらいたいとの要望がある。また、バイオマスチップボイラー施設について、管理に手間がかかり過ぎ、設備自体も整備初期のものであるため不具合等があるため、改善に向けた要望がある。

事務事業名	波多温泉管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	定期的な更新及び修繕を実施している中、今後の施設運営適正化の為、修繕箇所等の確認が必要である。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	地域拠点施設として機能しており、平成24年度においては木質チップボイラーが補助事業により導入され、施設の廃止及び休止は出来ない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	理由	(具体的な手段や類似事業名) 近隣に類似施設がないため、統廃合は難しい。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理料が必要最小限であるため、今以上の事業費削減は出来ない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	機械設備維持管理業務委託及び木質チップボイラー管理を指定管理に含めた事で、事務量の軽減に繋がった。しかし、現在以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	対象を市民及び雲南市への入込客数としており、対象者からは入湯料をもらっている事から公平かつ公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	運営上の問題は特にない。 今後は、修繕費等の確保を定期的実施し、施設運営上支障のないよう配慮する必要がある。
		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
定期的な点検等による修繕箇所の確認作業を実施。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		